

2026年2月27日

「稲とアガベ株式会社」への協調投融資について ～醸造設備増強を秋田銀行グループと日本政策金融公庫が協調支援～

株式会社秋田銀行（頭取 芦田 晃輔）および株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ（代表取締役 石川 聡）は、株式会社日本政策金融公庫秋田支店中小企業事業（以下、「日本公庫」という。）とともに、稲とアガベ株式会社（代表取締役 岡住 修兵）が実施する醸造能力増強に向けた設備投資に対し、協調で投融資を行いましたのでお知らせいたします。

稲とアガベ株式会社は、クラフトサケ^(注)の製造・販売を中核事業として、男鹿地域の活性化に取り組むスタートアップです。同社が製造するクラフトサケは国内外から高い評価を得ており、需要が増加しています。このたびの醸造所の改修と醸造設備の新設によって製造能力が向上し、事業のさらなる拡大と地域経済の発展への寄与が期待されます。

当行グループと日本公庫は、今後も地域事業者の皆さまへの成長資金の供給を通じて、秋田の地域資源を活かした新たなビジネスに挑戦する企業を積極的に支援し、地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

(注) クラフトサケとは、日本の伝統的な日本酒製造技術をベースに、フルーツやハーブなどの副原料を加えて製造される新たなジャンルのお酒です。

記

1 投融資先の概要

企業名	稲とアガベ株式会社
代表者	岡住 修兵
業種	酒類製造業
住所	秋田県男鹿市船川港船川字新浜町1-21
事業内容	○ クラフトサケを製造・販売する「稲とアガベ醸造所」を起点に、酒粕や規格外農産物など地域の未利用資源を活用した食品加工事業「SANABURI FACTORY」、ラーメン店「おがや」および一棟貸し宿・ゲストハウス「宿ひるね」を手掛けています。 ○ 関連会社がホテル「かぜまちみなど」、クラフトジンを製造・販売する「早苗饗（さなぶり）蒸留所」等を経営しており、多角的な事業を通じたまちづくりにより、男鹿市の活性化に取り組んでいます。

2 投融資の内容

資金使途	醸造所改修、醸造設備の新設、増加運転資金 等
総事業費	非公表
投融資金額	非公表
投融資内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 秋田銀行：補助金入金までのつなぎ資金の支援 ○ あきぎんキャピタルパートナーズ：あきぎん NEXT 投資事業有限責任組合を通じた第三者割当増資の引受け ○ 日本公庫：特別貸付制度「スタートアップ支援資金^(注)」の支援 <p>(注) 日本の経済成長および社会課題の解決が見込まれるスタートアップの成長を支援するための特別貸付制度</p>

3 当社が手掛ける事業一覧

1 稲とアガベ醸造所



(醸造所併設)

2 ショップ/カフェ 土と風



(食品加工・販売)

3 SANABURI FACTORY



船川地区 男鹿駅周辺

稲とアガベを起点に徒歩15分圏内



4 ラーメンおがや **5** 宿ひるね **6** ホテルかぜまちみなと **7** 早苗饗蒸留所

4 ラーメンおがや



5 宿ひるね



6 ホテルかぜまちみなと



7 早苗饗蒸留所



凡例：● 稲とアガベ株式会社が手掛ける事業 ■ グループ企業が手掛ける事業

4 あきぎんNEXTファンドの概要

名 称	あきぎんNEXT投資事業有限責任組合（通称 あきぎんNEXTファンド）
ファンド総額	10億円
出 資 者	有限責任組合員（LP） 株式会社秋田銀行 無限責任組合員（GP） 株式会社あきぎんキャピタルパートナーズ
存続期間	約10年間
設 立 日	2023年8月1日（火）
投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ○ 創業・起業期および創業・起業10年未満の企業、第二創業・新事業を展開する企業 ○ 地域に欠かせない技術・顧客基盤を有し、事業承継の課題を抱えている企業 ○ 地域活性化に資する事業を行っている企業

5 あきぎんNEXTファンドの投資実行先一覧

	企業名	事業内容
第1号	Cranebio株式会社	フェムテック製品の開発・製造
第2号	発酵パーク株式会社	まちづくりに関するサービス提供、宿泊業
第3号	双日由利農人株式会社	タマネギ生産にかかる営農サポート
第4号	事業承継案件（非公表）	
第5号	TOYOSHIMA FARM株式会社	ブドウ栽培、ワイン醸造
第6号	株式会社このほし	森林資源活用コンサルティング
第7号	新製品開発案件（非公表）	
第8号	株式会社エナーバンク	脱炭素化支援サービス
第9号	株式会社男鹿なまはげ魚工房	陸上養殖事業
第10号	事業承継案件（非公表）	
第11号	事業承継案件（非公表）	
第12号	イーストブリッジ リニューアブル株式会社	洋上風力発電事業向けコンサルティング・特殊工事船の用船事業
第13号	株式会社リピドームラボ	脂質の分析・解析の受託サービス、脂質の研究開発支援
第14号	株式会社TOMUSHI	カプトムシによる地域内の資源循環ビジネス

(以上)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。